

クラスター	代謝・情報系クラスター			
授業科目名	組織学特論・実習			
担当者名	責任者	八月朔日 泰和	分担者	吉川 究, 鮎川 友紀
単位数	1単位(選択)		配当年次	1, 2年次
授業形態	講義, 実習		実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
授業の概要・到達目標				
授業の目的: ヒトを含む生物の器官は、様々な組織の組み合わせにより成り立っている。本授業では、細胞および組織レベルの観点から、器官構築の分子構造について理解することを目的とする。また、蛍光イメージングや数理モデルを駆使した最近の研究成果を交えながら、器官構築がどのように制御されているのか紹介するとともに、形態解析法について学ぶことを目的とする。 授業の到達目標: 細胞および組織レベルの観点から、器官構築の分子構造について理解し、説明することを目標とする。また形態解析法を理解し実践することを目標とする。				
授業の概要:				
1,2. 組織学特論-形態学的解析法を中心として-				
3,4. 組織・器官構築に関する分子遺伝学的研究				
5,6. 器官構築における結合組織の役割				
7,8. 器官構築における上皮組織の役割				
授業計画				
	講 義 題 目 (講 義 内 容)	担当教員	講座名 [実施場所]	
1	組織学特論-形態学的解析法を中心として-	八月朔日 泰和	細胞生物学 [Zoomによる遠隔講義]	
2				
3	組織・器官構築に関する分子遺伝学的研究	鮎川 友紀		
4				
5	器官構築における結合組織の役割	吉川 究		
6				
7	器官構築における上皮組織の役割	鮎川 友紀		
8				
授業形態および成績の評価方法・基準				
セミナー室での講義30時間＋自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は出席状況と口頭試問および提出したレポートの内容を考慮して行う。				
問い合わせ先(氏名、メールアドレス等)				
八月朔日 泰和, yahodumi@med.akita-u.ac.jp				
その他特記事項				
履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。				
教科書・参考文献: 必要に応じて科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します。				
自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。				